



新宿区立津久戸小学校 地域協働学校

運営協議会だより 第9号

代表 林天延 校長 本間 基史

第9回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

- 日時 令和6年2月16日(金) 14時00分～15時00分
- 場所 津久戸小学校 会議室
- 司会 運営委員会代表 林天延

1. 挨拶

(1) 司会より

今回は今年度の振り返りについて、次回は来年度の展望について話し合いたいと思います。

(2) 校長より

○幼稚園のPR用の広報誌を小さい子供が来るような場所に置いていただきたい。

○学校行事での児童の様子についてご紹介します。

- ・聴覚障害理解教育の一環として、デフリンピックのサッカー選手に来ていただきました。
- ・本校での環境教育活動「熊谷組さんとのゴミ0運動」や「外堀チャレンジ」などが、教育委員会から表彰されることになりました。
- ・6年生の模擬選挙 ・5年生のタグラグビー(全部英語で実施)
- ・台湾の教員、学生の学校見学 ・スターをさがせ集会 など

(3) 4年生の学習「内藤とうがらしプロジェクト」について

自分たちで栽培した内藤とうがらしの魅力を伝えたり、とうがらしを使った防虫スプレーを作って活用したりする学習をしています。

(4) 2年生の町たんけん

町の様子を知るために神楽坂の町を探検し、気になったお店の人にインタビューをしてわかったことをポスターにまとめて発表しました。作成したお店紹介ポスターをお店の方にお渡ししました。

2. 情報、意見交換

(1) コロナ以後、児童と関わる活動が減ってしまった。現在は地域協働運営協議会として「防災キャンプ」と「読書の日」しか直接児童と関わっていないので、次年度以降は、もっと活動を増やしたい。

令和6年度は、全校朝会で委員の皆さんにお話していただき、児童が地域について知るきっかけとしたい。

(2) 見守り活動について

当番制ではなく、出られるときに、できる時間で無理なくお願いできればと思います。

(3) 事務局より

節分の豆は、5年生が各学級に配布をしました。

(4) 読書活動についてのアンケート結果では、津久戸小はインターネットを使用した調べ学習以外は、新宿区の平均を上回っていました。津久戸小の児童が読書好きなのが表れています。

出席者

林天延、中井啓之、本多加奈子、櫻井真弓、白神達也、林深雪、加地洋平、新宿区教育委員会、本間 基史、清水敦子(副校長)、福田晴香、草薙優樹(以上4年担任)、博田かおり、横田鈴(以上2年担任)、河野雄二(学校経営推進員) 15名

地域協働学校運営協議会メンバー

代表	林天延(前PTA会長)		
委員	中井啓之(卒業生 保護司 元PTA会長)	本多香奈子(青少年育成委員会)	
	櫻井真弓(スクールコーディネーター)	小田桐誠(笹笹町地区 民生児童委員)	
	白神達也(株式会社熊谷組管理本部人事総務部)	総務グループ部長)	
	林深雪(商店会)	加地洋平(PTA会長)	本間基史(本校校長)

地域協働学校運営協議会はすべて公開です。どなたでも傍聴や見学をすることができます。事前の申し込みが必要です。